

## ◆点検シート(新基準)

|             |                   |      |                |
|-------------|-------------------|------|----------------|
| 評価基準        | 1 理念・目的           | 点検単位 | 文学研究科<br>国文学専攻 |
| 点検・評価<br>年度 | 2018年度(対象:2017年度) |      |                |

## ① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

|  |
|--|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。<br>博士前期課程においては、国文学・国語学・漢文学の3研究分野を設け、それら研究分野間の相互連携を図りながら、それぞれの構成員が固有の問題の解明・研究に当たること、それを通して、十分な研究能力を持ち学位取得後には教育界や内外の諸分野で活躍できる人材を育成することが、「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」(平成25年2月19日制定)に定められている。<br>博士後期課程においても、上記前期課程で修めた研究成果を基盤に、それを継承・発展させ研究を一層深化させるよう促すこと、そのなかで、広い視野と高度な研究能力を身に付けていて、新たな視点で柔軟に物事に向かい問題提起のできる、国文学・国語学・漢文学の研究者あるいは学校教育・社会人教育の現場にて指導的役割を担える人材を育成することが、やはり同規程に定められている。<br>人材養成・教育研究上の理念・目的が、専攻の個性・特徴に沿いつつ各課程ごとに適切に設定されていると言えよう。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。<br>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。<br>特筆すべき事項なし。   |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。<br>特筆すべき事項なし。   |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。<br>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。  |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。   |

## ② 大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

|   |
|---|
| 【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。<br>・専攻の理念・目的は、「大学院要覧」や大学ホームページを通じて、大学構成員に周知されるとともに、社会に向けても公表されている。学生に対してはガイダンスにおいて理念・目的に即した指導を行っている。社会における認知度などは明確に判定し難い面があるが、専攻の理念・目的が適切に公表されていることは確かである。<br>・学生に対しては、ガイダンス・普通の授業において、専攻の理念・目的に即して授業・指導をおこなっており、社会に対してもホームページなどで容易に確認可能になっており、専攻の理念・目的が適切に公表されていると言える。 |
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。<br>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。<br>特筆すべき事項なし。  |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。<br>特筆すべき事項なし。  |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。<br>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。   |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。  |

**③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた計画その他諸施策を設定しているか。**

|   |
|---|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>個別の視点での入力不要                                 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b><br><b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>  |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b><br><b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b> |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>   |

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

|  |
|--|
| <b>一般的なコメント(総評)</b><br>目標が具体的に設定されており、適切な対応がなされていると評価できます。 |
| <b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>                           |

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

|           |
|-----------|
| <b>意見</b> |
|-----------|

## ◆点検シート(新基準)

|         |                   |      |                |
|---------|-------------------|------|----------------|
| 評価基準    | 4 教育課程・学習成果       | 点検単位 | 文学研究科<br>国文学専攻 |
| 点検・評価年度 | 2018年度(対象:2017年度) |      |                |

## ① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

平成25(2013)年3月26日制定の「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表2において、文学研究科では、学位授与の方針を以下のように定めている。「次の要件と資質を有している者に対して修士(国文学)、修士(英文学)、修士(史学)及び博士(文学)の学位を授与します。

《学位授与の諸要件》[博士前期課程]大学院学則第12条に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者。

[博士後期課程]大学院学則第12条の2に定める要件を満たし、あわせて別に定める学位論文審査基準を満たした者。

《基本的な資質》①[知識・理解]各専攻が示す高度な専門的知識を修得している。

②[技能・表現]各専攻の基本方針が定める、高度な専門知識を活用・応用する専門的能力を修得している。

③[態度・志向性]建学の精神を深く理解し、豊かな人間性と高度な専門知識と幅広い視野を備え、生涯にわたり新しい価値を生み出していこうとする自覚を有している。

④[統合能力]上記①～③の高度な専門知識や専門応用能力を統合的に活用することができ、グローバルな社会に対応できるコミュニケーション能力を身につけている。」

以上を大学ホームページで公開している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

平成25(2013)年3月26日制定の「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表3において、文学研究科では、教育課程の編成・実施方針を以下のように定めている。

「文学研究科には国文学専攻、英文学専攻、史学専攻があり、研究の成果を博士・修士の学位論文として作成し、高度な専門的職業人及び研究者として活躍できる能力の確立を目指します。」

こうした文学研究科全体としての方針のもと、3専攻においてそれぞれ、博士前期課程と博士後期課程に即した教育課程の編成・実施方針を、平成25(2013)年3月26日制定「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表3に明示している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。**

|   |
|---|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>教育目標に基づいた教育課程の編成・実施方針は、博士前期課程と博士後期課程それぞれについて、『大学院要覧』や大学ホームページに明示されている。具体的には、およそ次の通り。<br>博士前期課程では、教育課程の編成・実施方針に基づき、それぞれの時代の国文学・国語学・漢文学についての各「演習」と、それぞれの時代の国文学・国語学・漢文学および古代文化・仏教文化史・中国文学史についての各「特論」とを開設し、教育課程を体系的に編成している。また、「演習」はすべて、I(1回生対象)とII(2回生対象)と2種類開設しており、順次高度な内容へと移行するシステムになっている。なお、特に各学生の専門分野の「演習」においては、それぞれの学位論文作成へ向けた研究指導を随時行っている。<br>博士後期課程では、やはり教育課程の編成・実施方針に則り、それぞれの時代の国文学・国語学・漢文学の「特殊研究」各2種類と古代文化特殊研究、指導教員による研究指導を、適切に開設・配置して、教育課程全体を体系的に編成している。研究指導などにおいて個々の学生の状況を見ながら順次ステップアップできるようにしている。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>   |
| <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。   |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。   |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>  |
| <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>   |

**④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。**

|  |
|--|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>博士前期課程も博士後期課程も、国文学・国語学・漢文学についての科目と、それら領域の周辺領域の科目を開設しており、それは、研究領域が国文学・国語学・漢文学の三つに分かれていることに対応するものである。また、いずれの課程にも古代文化に関する科目を配置しているのは、京都に所在するという特性を生かしたものともなっている。シラバスによる、それらいずれの科目においても、教育課程の編成・実施方針に基づいて、各分野・各段階ごとの相応しい教育内容が提供されている。<br>ただし、博士後期課程において、自らの専門とする、もしくは近接する分野の科目を1年次にとってしまうと、内容的に重ならないものであっても2年次以降の重複履修が不可となるのは、高度の専門性を要求される博士後期課程としては、実情にそぐわない点である。また、学生総数が少ないため、受講数の少ない授業となることで、学生間の切磋琢磨の機会が不十分であることも問題ではある。教育目標・学位授与方針・教育課程の編成・実施方針の適切性については、毎年度に発行される『大学院要覧』の内容を確認・検証する際に専攻会議において確認・検証している。また、別の機会の専攻会議においても確認・検証を行っている。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>  |
| <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>・博士後期課程において、自らの専門とする、もしくは近接する分野の科目を1年次にとってしまうと、内容的に重ならないものであっても2年次以降の重複履修が不可となるのは、高度の専門性を要求される博士後期課程としては、実情にそぐわない点である。同一名称の科目であっても、シラバス等により内容的に異なるものであることが確認できれば、重複履修を可能にすることを検討する。<br>また、学生総数が少ないため、受講数の少ない授業となることで、学生間の切磋琢磨の機会が不十分であることを鑑み、受講対象を柔軟に広げる形での科目設定について検討を行う。   |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>  |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>  |



**⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。**

|  |
|--|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>   |
| 成績評価については、評価の方法・観点、さらには授業時間外に必要な学習内容などが、各授業ごとにシラバスに明示されており、それに基づいて適切に成績評価と単位認定が行われている。また、各授業の受講生は1名から数名とごく少人数であるので、課題に対する取り組み方など授業時間内外における各学生の学習状況を十分に把握したうえで評価・認定している。<br>学位授与については、「京都女子大学学位規程」および「京都女子大学大学院 学位論文の取扱いに関する内規」(『大学院要覧』に掲載)に明示された手順に従って、また「学位論文審査基準」(『大学院要覧』に掲載)に則って審査したうえで、学位授与を行っている。具体的には、修士の学位の場合、提出された修士論文について、当該論文の指導に当たった国文学専攻指導教員を主査とする、国文学専攻指導教員および国文学専攻指導補助教員からなる3名の審査委員により、口頭試問(最終試験)を実施したうえで審査、その結果を文学研究科委員会に報告し、同委員会での審議・議決を経て授与している。博士の学位の場合も同様であるが、さらに加えて、事前に博士論文提出資格審査を行うとともに、公開での論文審査会を実施している。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>  |
| <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>  |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>  |

**⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。**

|   |
|---|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>  |
| 学位論文の提出状況を一つの指標とすれば、平成29年度には2名、修士論文提出者・博士前期課程修了者があって、うち1名が博士後期課程に進学した。一定程度の学習成果は上がっていると言えよう。しかし、博士後期課程の方は、平成29(2017)年度に博士学位取得者がいなかった。<br>また、毎年修士論文中間発表会を開催し、大学院全担当教員が出席し、指導に当たっている。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>   |
| <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。   |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。   |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>  |
| <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>   |

**⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

|  |
|--|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b>   |
| 大学院生アンケートに抛れば、専攻単位の集計はなされておらず文学研究科全体での数値となるが、「授業内容は期待していた通りであった」には89.5%、「授業に対する担当教員の熱意を感じた」に94.7%、「教員の研究指導は適切であった」に100.0%、「履修指導は適切であった」に89.4%「大学院で学んだことは自分のためになった」に100.0%の肯定の回答があった。いずれも極めて高い数値と思われる。<br>毎年、次年度の開講科目を検討する際に、それぞれの科目について専攻内会議において検証し、合意のもとでカリキュラムを編成している。 |

|  |
|--|
| 【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。   |
| 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。<br>特筆すべき事項なし。 |
| 【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。<br>特筆すべき事項なし。     |
| 【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。                |
| 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 |
| 【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。     |

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

|   |
|---|
| 一般的なコメント(総評)<br>目標が具体的に設定されており、適切な対応がなされていると評価できます。 |
| 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)                           |

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

|    |
|----|
| 意見 |
|----|

## ◆点検シート(新基準)

|             |                   |      |                |
|-------------|-------------------|------|----------------|
| 評価基準        | 5 学生の受け入れ         | 点検単位 | 文学研究科<br>国文学専攻 |
| 点検・評価<br>年度 | 2018年度(対象:2017年度) |      |                |

## ① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

博士前期課程・後期課程それぞれに受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を定め、学生募集要項やホームページに明示している。いずれの場合も、教育目標あるいは学位授与方針とも関連させつつ、『『正解』の無い問題に取り組む強さを持った、言葉を論理的に用いることに興味のある人材』(前期課程)「言葉に対する豊かな感受性と言葉を論理的に用いることに興味があり、自分自身を強くリードするモチベーションのある人材」(後期課程)を求めている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

学生募集要項に明示されている通り、博士前期課程は秋季(10月)と春季(2月)に、博士後期課程は春季(2月)に、それぞれ選抜試験を行っている。具体的には、前期課程の場合、秋季は外国語筆記試験・専門科目(国文学・国語学・漢文学)筆記試験・提出された研究計画書等についての口述試験、春季は外国語筆記試験・研究計画書および卒業論文などについての口述試験、後期課程の場合、専門科目筆記試験(国文学・国語学・漢文学に関する文献読解または論述)・修士論文および研究計画書などについての口述試験を行う。また、博士前期課程・後期課程ともに外国人留学生特別選抜も実施しており、博士前期課程については社会人特別選抜も行っている。

以上の選抜試験を担当教員全員で行い、判定会議において厳正に審査・判定を行っている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。**

|   |
|---|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>※個別の視点での記入は不要です。                            |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b><br><b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b>  |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b><br><b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b> |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>   |

**④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

|  |
|--|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>学生募集・入学者選抜のあり方については、毎年、学生募集要項確定以前と入学者選抜実施後に、大学院国文学専攻担当教員の間で、その適切性を検証するとともに、必要に応じて修正を加えている。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b><br><b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。                                   |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b><br><b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>  |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>  |

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

|  |
|--|
| <b>一般的なコメント(総評)</b><br>目標が具体的に設定されており、適切な対応がなされていると評価できます。 |
| <b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>                           |

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

|           |
|-----------|
| <b>意見</b> |
|-----------|



## ◆点検シート(新基準)

|         |                   |      |                |
|---------|-------------------|------|----------------|
| 評価基準    | 6 教員・教員組織         | 点検単位 | 文学研究科<br>国文学専攻 |
| 点検・評価年度 | 2018年度(対象:2017年度) |      |                |

## ① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

大学院文学研究科国文学専攻の専任教員はいないが、文学部国文学科所属教員のうちの大学院担当教員が中心となって、大学院教育に最適なように、教員像を想定し教員組織の編制方針を定めている。より具体的には、専攻の理念・目的に応じた研究・教育に資すべき能力・資質を十分に備えていることを絶対的条件として、非常勤教員をも含め教員組織を編制すること、また、国文学・国語学・漢文学の三つの研究領域が存在することを考慮して担当教員を適宜配置することを、方針として教員間で共有している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

国文学専攻は、文学部国文学科を言わば母体として設置されており、その教育課程は国文学科の教育課程を反映・展開したものとなっている。したがって、教員組織も国文学科の担当者を軸としたものになっているが、その研究科国文学専攻担当教員としての資格については、専攻内の教員による検討・討議、さらには研究科委員会の承認を経た選考委員会による検討・討議が、編制方針に基づいて十分に行われている。そして、それら専任の教員に、やはり資格審査を経た非常勤の教員も加えて、それぞれが、各自の専門分野に適した形でカリキュラムの中に配置されている。また、担当教員の年齢は全体的に高く、講師や准教授でなく教授が中心となっているが、その点は、大学院の特性としてやむを得ないことであり、むしろ相応しいことでもあろう。なお、退職者があって後任を補充する際には、学科そして専攻の運営などを考慮した教員組織のあり方を話し合い、必要に応じて改善を図るようにしている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。**

|  |
|--|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>専任の教員募集については、学部で教員との兼任の形となっており、学部における募集・採用・昇格と連動する形で行っているが、加えて大学院担当教員としての資格審査を研究科会議において厳正に行っている。<br>非常勤講師についても、専攻会議において慎重に審議した上で研究科会議に諮り厳正な審査を行っている。国文学・国語学・漢文学の各分野ともに相応の人材を得て適正に運用されていると思われる。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>  |
| <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>  |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>  |

**④ 教員の資質の向上を図るための方策を組織的かつ多面的に実施し、教員及び教員組織の改善につなげているか。**

|  |
|--|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>教員の教育・研究活動の評価あるいはFD活動については、国文学専攻として独自に実施しているわけではない。ただ、専攻に所属する学生の人数が少なく、いずれの授業も受講生がごく少数であるので、個々の学生に関する情報や指導法について教員間で共有し話し合うことは、必要に応じて行われている。<br>また、大学院文学研究科紀要『国文論藻』や国文学会誌『女子大國文』に教員の研究成果が発表され、それらが所属の全教員に配布されるので、自ずと教員の研究評価の場となってもいる。あるいは、教員業績データベースに毎年、各教員が研究業績を入力しているため、それも各教員の研究評価の方途となっている。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>  |
| <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>   |
| <b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>  |
| <b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>  |

**⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

|  |
|--|
| <b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b><br>次年度のカリキュラム検討に際して、教員組織の適切性についても点検・確認を行っている。また、その結果をもととして、必要に応じて採用人事を起こしたり、大学院担当案を専攻会議で検討して決定し、全学の人事委員会、研究科委員会に提案している。 |
| <b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>  |
| <b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |
| <b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b><br>特筆すべき事項なし。  |

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

#### 内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

##### 一般的なコメント(総評)

目標が具体的に設定されており、適切な対応がなされていると評価できます。

④の【現状説明】教員の教育・研究活動の評価あるいはFD活動について、国文学専攻として今後適切に対応することが求められます。

##### 改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

#### 内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

##### 意見